



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日

上場会社名 株式会社小田原エンジニアリング 上場取引所 東
 コード番号 6149 URL https://odawara-eng.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保科 雅彦
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 黒澤 克彦 (TEL) 0465-83-1122
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	3,135	98.8	35	—	98	—	68	—
2020年12月期第1四半期	1,576	△31.2	△234	—	△231	—	△187	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 121百万円(—%) 2020年12月期第1四半期 △221百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	11.68	—
2020年12月期第1四半期	△32.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	22,432	13,237	59.0
2020年12月期	23,488	13,233	56.3

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 13,237百万円 2020年12月期 13,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年12月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 5円00銭

2021年12月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭 特別配当 5円00銭

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,500	27.9	360	476.2	370	348.8	230	—	39.08
通期	15,000	33.8	600	4.8	630	△6.2	400	△11.4	67.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期 1 Q	6,392,736株	2020年12月期	6,392,736株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	507,010株	2020年12月期	507,010株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期 1 Q	5,885,726株	2020年12月期 1 Q	5,866,828株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業の設備投資などに持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、11都府県を対象とする緊急事態宣言が再発出されるなど、依然として厳しい状況が続きました。

一方世界経済は、中国経済は緩やかに回復し、米国ではワクチン接種が進むなかで、新型コロナウイルス新規感染者数の増加が抑えられ景気は持ち直しているものの、世界全体では変異株の拡散もあり新規感染者数は増加し、世界各国の水際対策により、海外渡航にかかる制限がこれまで以上に強化されるなど、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況下、当社グループは新型コロナウイルス感染症の拡大防止に最大限配慮するとともに、事業への影響を最小限にすることに努めた結果、売上高は3,135百万円(前年同四半期比98.8%増)、利益面につきましては、巻線機事業の自動車関連向け新製品のコスト増や、新型コロナウイルス感染症の影響による輸出案件の輸送費の高騰、渡航制限措置に伴う現地工事の外部委託コスト等が引き続き発生しているため、営業利益は35百万円(前年同四半期は234百万円の営業損失)、経常利益は98百万円(前年同四半期は231百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は68百万円(前年同四半期は187百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 巻線機事業

巻線機事業に関しては、昨年、売上を予定していた自動車関連向け全自動巻線システムの一部が売り上がったものの、新型コロナウイルス感染症の影響による渡航制限、各国の水際対策措置に伴う待機等により、売上がずれこんでいる輸出案件もあり、売上高は2,074百万円(前年同四半期比216.8%増)、セグメント利益は126百万円(前年同四半期は105百万円のセグメント損失)となり、受注残高は、下期以降に売上を予定しているものが多いことから10,022百万円と高水準を維持しています。

なお、当社グループの巻線機事業は、完全受注生産で、案件ごとに仕様やボリューム、納期、検収条件等が大きく異なるため、受注時期や売上時期が四半期並びに通期単位で大きく変動することがあります。

② 送風機・住設関連事業

送風機・住設関連事業に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により、浴室照明器具や全館空調システムを含む住宅換気装置については引き続き回復が鈍いものの、半導体や工作機械向けを中心とする軸流ファンの需要が持ち直してきたこと等により、売上高は1,060百万円(前年同四半期比15.1%増)となりましたが、住設関連事業の販売減を補うには至らず、セグメント損失は0百万円(前年同四半期は42百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.0%減少し、15,901百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が515百万円、商品及び製品が112百万円それぞれ増加し、現金及び預金が1,178百万円、電子記録債権が168百万円、仕掛品が555百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%増加し、6,530百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4.5%減少し、22,432百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10.6%減少し、8,817百万円となりました。これは主に、未払金が142百万円、賞与引当金が122百万円それぞれ増加し、支払手形及び買掛金が512百万円、未払法人税等が202百万円、前受金が593百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.4%減少し、377百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて10.3%減少し、9,194百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.0%増加し、13,237百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2021年2月12日に公表した業績予想に変更はありません。この予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,945,249	4,767,080
受取手形及び売掛金	2,750,130	3,265,605
電子記録債権	677,681	509,632
商品及び製品	3,940,612	4,053,241
仕掛品	2,968,703	2,413,377
原材料及び貯蔵品	670,782	761,387
未収還付法人税等	13,677	13,677
その他	128,966	119,761
貸倒引当金	△1,806	△2,257
流動資産合計	17,093,995	15,901,506
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,661,865	4,836,123
減価償却累計額	△2,064,264	△2,118,180
建物及び構築物(純額)	2,597,601	2,717,943
機械装置及び運搬具	1,640,527	1,717,683
減価償却累計額	△1,237,672	△1,272,610
機械装置及び運搬具(純額)	402,854	445,073
工具、器具及び備品	1,475,185	1,527,831
減価償却累計額	△1,227,134	△1,256,953
工具、器具及び備品(純額)	248,050	270,877
土地	1,570,304	1,572,622
建設仮勘定	123,804	14,353
有形固定資産合計	4,942,614	5,020,869
無形固定資産		
ソフトウェア	76,682	73,578
電話加入権	3,043	3,043
その他	98	94
無形固定資産合計	79,824	76,716
投資その他の資産		
投資有価証券	389,579	420,546
退職給付に係る資産	286,910	285,468
繰延税金資産	664,068	694,968
その他	31,075	32,063
投資その他の資産合計	1,371,633	1,433,046
固定資産合計	6,394,073	6,530,632
資産合計	23,488,069	22,432,138

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,963,136	1,450,870
短期借入金	3,045,747	3,048,933
未払金	262,450	405,247
未払法人税等	273,152	70,867
前受金	3,943,742	3,350,317
賞与引当金	66,040	188,161
アフターサービス引当金	75,559	83,582
その他	230,238	219,483
流動負債合計	9,860,067	8,817,464
固定負債		
繰延税金負債	55,341	59,425
退職給付に係る負債	166,447	166,558
資産除去債務	20,266	20,349
その他	152,641	131,163
固定負債合計	394,696	377,496
負債合計	10,254,764	9,194,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,250,816	1,250,816
資本剰余金	1,827,121	1,827,121
利益剰余金	10,610,365	10,561,413
自己株式	△356,642	△356,642
株主資本合計	13,331,660	13,282,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,690	134,561
繰延ヘッジ損益	△10,710	△22,406
為替換算調整勘定	△200,335	△157,688
その他の包括利益累計額合計	△98,356	△45,532
純資産合計	13,233,304	13,237,177
負債純資産合計	23,488,069	22,432,138

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	1,576,865	3,135,160
売上原価	1,237,426	2,406,088
売上総利益	339,438	729,071
販売費及び一般管理費	573,803	693,370
営業利益又は営業損失(△)	△234,365	35,701
営業外収益		
受取利息	145	210
受取配当金	90	90
受取賃貸料	1,252	1,291
受取保険料	5,080	—
為替差益	—	29,536
作業くず売却益	2,184	3,846
助成金収入	50	25,253
その他	3,921	3,988
営業外収益合計	12,725	64,216
営業外費用		
支払利息	1,198	1,160
為替差損	7,920	—
減価償却費	523	544
その他	1	6
営業外費用合計	9,644	1,711
経常利益又は経常損失(△)	△231,283	98,206
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△231,283	98,206
法人税、住民税及び事業税	16,467	61,299
法人税等調整額	△60,026	△31,856
法人税等合計	△43,558	29,443
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△187,724	68,763
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△187,724	68,763

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△187,724	68,763
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,688	21,871
繰延ヘッジ損益	19,605	△11,695
為替換算調整勘定	△10,652	42,647
その他の包括利益合計	△33,736	52,824
四半期包括利益	△221,461	121,587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△221,461	121,587

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	654,761	922,103	1,576,865	—	1,576,865
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	89	89	△89	—
計	654,761	922,193	1,576,955	△89	1,576,865
セグメント損失(△)	△105,363	△42,154	△147,517	△86,847	△234,365

(注)1. セグメント損失の調整額△86,847千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント損失は、四半期連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,074,175	1,060,984	3,135,160	—	3,135,160
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	183	183	△183	—
計	2,074,175	1,061,167	3,135,343	△183	3,135,160
セグメント利益 又は損失(△)	126,054	△926	125,128	△89,426	35,701

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△89,426千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。